

\*\* 2012年 4月 第5版  
製造販売業者の住所変更に伴う改訂  
\* 1999年 12月 第4版  
薬事法改正に伴う改訂

日本標準商品分類番号 872331  
承認番号 16000AMZO4533000  
薬価収載 1950.10  
販売開始 1949.11  
再評価結果 1983. 4

## 消化酵素剤

日本薬局方 ジアスターゼ

# ジアスターゼ「コザカイ・M」

<貯法>

保存条件：30℃以下で保存

吸湿注意

容器：気密容器

使用期限：外箱に表示

<注意> 取扱い上の注意の項参照

Diastase

### 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

### 【組成・性状】

本品 1g 中に、日本薬局方 ジアスターゼ 1g を含有する。

本品は淡黄色～淡褐色の粉末である。

本品は吸湿性である。

### 【効能・効果】

主として炭水化物の消化異常症状の改善

### 【用法・用量】

ジアスターゼとして、通常成人 1 回 0.3 ～ 0.5g を 1 日 3 回食後に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

#### \*副作用

本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等

注) このような症状があらわれた場合は投与を中止すること。

#### \*【薬効薬理】

ジアスターゼはでんぷんを加水分解する酵素に与えられる総称であるが、作用機構的にアミラーゼという名称が与えられている。麦芽ジアスターゼ中には、 $\alpha$ 、 $\beta$  の両アミラーゼがあり、両アミラーゼが共同して作用すると考えられ、でんぷんに対して麦芽糖、低級デキストリンにまで分解する。

至適 pH は弱酸性（4.5 ～ 5.5）で、強酸又は強アルカリにより失活する。従って本薬は、胃中において食物がまだ十分に胃液と混合し強酸性にならないうちに作用するものと思われる。

#### \*【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ジアスターゼ（Diastase）

本 質：主として麦芽から製したもので、でんぷん消化力がある酵素剤である。

性 状：本品は淡黄色～淡褐色の粉末である。

本品は吸湿性である。

#### \*【取扱い上の注意】

<配合変化>

強酸性又は強アルカリ性により失活する。

【包装】 500g、15kg

\* 製造販売元



小堀製薬株式会社

\*\* 東京都墨田区両国 4-36-9